

床排水トラップ施工説明書



RTU-50

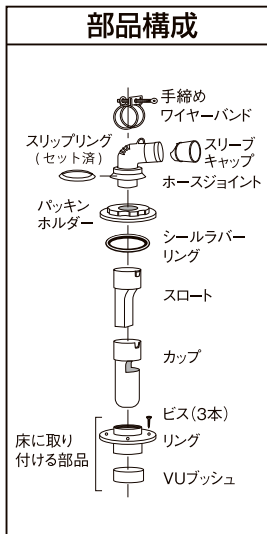
RTU-50M

(VP50・VU50兼用)

工事店様へ

- ※施工・使用前に必ずお読みください。
- ※施工完了後は必ず本説明書をお客様にお渡しください。

施工時の注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●プラスチック製品ですので、火気等を近づけないでください。(トーチランプ含む)高温(50℃以上)になることが予想される場所には施工しないでください。 ●グリス等の潤滑剤は絶対に使用しないでください。また、製品にもシーリング剤、潤滑剤を塗布しないでください。(潤滑剤等を塗布すると、製品の劣化の原因となります) ●製品に塗料・シンナー等を付着させないでください。 ●製品の上に乗らないでください。硬いものを落としたりぶつけたりしないでください。 ●ダブルトラップや排水管が逆勾配にならないようにしてください。(水漏れの原因となります) ●ビスでリングを締め付ける場合、締め付けすぎないようにしてください。破損の原因となります。
 強制	<ul style="list-style-type: none"> ●汚れは中性洗剤で拭いてください。 ●排水管の接続はJIS管VU50・VP50にて確実に施工してください。(排水管接続部に不備があると水漏れの原因となります) ●スリーブキャップは入居者の為のものです。必ず付けておいてください。



施工手順

※施工前に排水管がVU50・VP50であることをご確認ください。

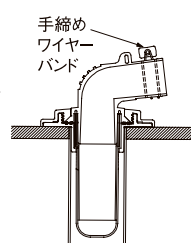
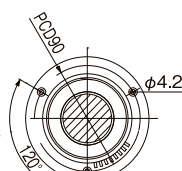
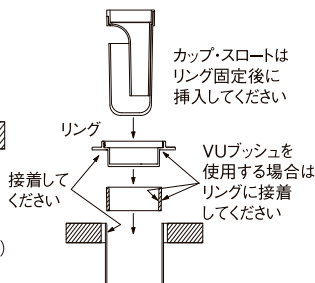
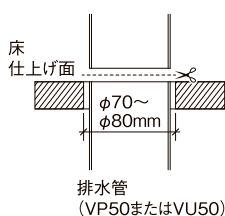
- ①床面に排水管を貫通させる穴をφ70～φ80mmとしてください。※図1
- ②床面を仕上げ、排水管を仕上げ面で切ってください。※図1
- ③リングよりパッキンホルダー、ホースジョイント(スリップリング付)、シールラバーリング、スロット、カップを取り外します。
- ④排水管とリングに接着剤を塗布し、リングを排水管に差し込んでください。※図2
(VU管に接着する場合にはVUプッシュをリングに接着してからプッシュ外周部に接着剤を塗布し、リングを排水管に差し込んでください)
- ⑤リングをビス止めしてください。※図3
- ⑥カップ、スロット、シールラバーリング、ホースジョイント(スリップリング付)の順でリングに取り付け、パッキンホルダーを回して締めてください。
- ⑦付属の手締めワイヤーバンドは、ホースジョイントに取り付けておいてください。※図4

●床仕上げ面 図1

●トラップの施工 図2

●リングのビス止め 図3

●手締めワイヤーバンドの取付位置 図4



- グリス等の潤滑剤や、シーリング剤は絶対に使用しないでください。(樹脂を劣化させる恐れがあります)

※裏面もご確認ください。

床排水トラップ取扱説明書

RTU-50

RTU-50M

(VP50-VU50兼用)

お客様へ

※使用前に必ずお読み頂き正しく使用してください。
 ※お読みになった後はいつでも見られるところに必ず保管してください。

使用時の注意

⚠ 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●製品が汚れた際は中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジなどで洗ってください。清掃後は、洗剤分が残らないようによく水洗いしてください。
⊘ 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●排水トラップに熱湯(50℃以上)やシンナーなどの溶剤を流さないでください。(変形・破損し水漏れの原因になります) ●「中性洗剤」及び「洗濯用洗剤」以外は使用しないでください。 ●製品に物を落としたり、ぶつける等の強い衝撃を与えないでください。特に洗濯機を設置される際は十分に注意して設置してください。
❗ 強制	<ul style="list-style-type: none"> ●スリップリング、シールラバーリングは必ず入れてください。(水漏れの原因となります) ●付属のスリーブキャップは、洗濯機ホースに挿入してください。(水漏れの原因となります) ●洗濯機ホースに既にスリーブキャップが差し込んである場合は挿入の必要ありません ●洗濯機ホースはホースジョイントにしっかり差し込み、手締めワイヤーバンドで必ず締めてください。 ●パッキンホルダー、手締めワイヤーバンドが緩んでいると水漏れの原因となります。しっかりと閉まっている事を確認してください。

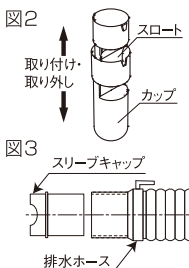
お手入れの仕方

排水トラップの清掃方法(取り外し方法)

- ①洗濯機の排水ホースを取り外します。
(この際、排水ホースに残っている排水が出てくる場合があります)
- ②パッキンホルダーを左に回し、スリップリング、ホースジョイント、パッキンホルダー、シールラバーリングを取り外します。
- ③スロートとカップを取り外します。その後、部品の清掃を行ってください。

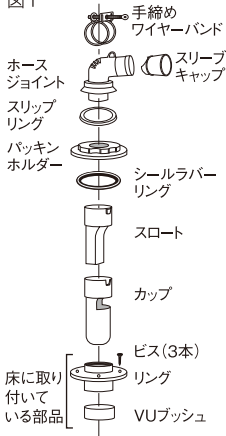
<組み立て方法>

- ④リングにカップとスロートを入れます。
(カップのとスロートの凸凹を合わせて挿入してください)※図2
- その後、シールラバーリング、スリップリング
(ホースジョイントへ取り付け)を入れてください。図3
- ⑤ホースジョイントをリングに差し込みます。
- ⑥パッキンホルダーを右に回し取り付けます。
- ⑦スリップリング、シールラバーリングは必ず入れてください。※図1
(入れ忘れると水漏れの原因となります)
- ⑧付属のスリーブキャップは、洗濯機ホースに挿入してください。※図3
- ⑨洗濯機ホースに既にスリーブキャップが差し込んである場合は、挿入の必要はありません。
- ⑩洗濯機ホースはホースジョイントにしっかり差し込み、手締めワイヤーバンドで必ず締めてください。
- ⑪リングは接着されているので外れません。



部品構成

図1



スロート・カップ内部にゴミ詰まり等が無いように、定期的(年2~3回)に清掃してください。
 ゴミ詰まりがあると洗濯機で排水エラーが起こることがあります。

株式会社テクノテック

■本 社 ■
 〒113-0033
 東京都文京区本郷3-6-6
 本郷OGビル3F
 TEL:03-5800-4477 FAX:03-5800-4196

■大阪支店 ■
 〒530-0001
 大阪府大阪市北区梅田1-2-2
 大阪駅前第2ビル 1202
 TEL:06-6676-8900 FAX:06-6676-8901



製品情報及び
 詳しい仕様等の
 情報はこちらから

<https://www.technotech.co.jp/>

EM011-06(2307)